

平成23年1月期（平成22年10月22日～平成23年1月20日）決算短信

平成23年3月4日

ファンド名 上場インデックスファンドS&P CNX Nifty先物（インド株式） 上場取引所 東証  
 コード番号 1549  
 連動対象指標 S&P CNX Nifty 指数先物  
 主要投資資産 投資信託証券  
 売買単位 10口  
 管理会社 日興アセットマネジメント株式会社 URL <http://www.nikkoam.com/>  
 代表者名 取締役社長 ビリー・ウェード・ワイルダー  
 問合せ先責任者 ETFセンター 今井 幸英 TEL (03)6447-6581

有価証券報告書提出予定日 平成23年4月5日  
 分配金支払開始予定日 分配金のお支払いはございません。

I ファンドの運用状況

1. 23年1月期の運用状況（平成22年10月22日～平成23年1月20日）

(1) 資産内訳 (百万円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計（純資産）	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
23年1月期	百万円 926	% (100.0)	百万円 0	% (0.0)	百万円 926	% (100.0)

(2) 設定・交換実績

	前計算期間末 発行済口数(①)	設定口数(②)	交換口数(③)	当計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
23年1月期	千口 -	千口 1,000	千口 0	千口 1,000

(3) 基準価額

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	10口当たり基準価額 (③/当計算期間末発行済口数) × 10)
23年1月期	百万円 927	百万円 1	百万円 926	円 9,264.1

(4) 分配金

	100口当たり分配金
23年1月期	円 0

2. 会計方針の変更  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 無  
 ② ①以外の変更 無

## II 財務諸表等

### （1）貸借対照表

（単位：円）

科目	期別	第1期 平成23年 1月20日現在
		金額
資産の部		
流動資産		
コール・ローン		1,480,260
投資信託受益証券		926,308,450
親投資信託受益証券		20,004
未収利息		3
流動資産合計		927,808,717
資産合計		927,808,717
負債の部		
流動負債		
未払受託者報酬		76,973
未払委託者報酬		1,078,053
その他未払費用		244,381
流動負債合計		1,399,407
負債合計		1,399,407
純資産の部		
元本等		
元本		1,000,000,000
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（△）		△73,590,690
（分配準備積立金）		△1,399,144
元本等合計		926,409,310
純資産合計		926,409,310
負債純資産合計		927,808,717

(2) 損益及び剰余金計算書

(単位:円)

科目	期別	第1期 自 平成22年10月22日 至 平成23年 1月20日
		金額
営業収益		
受取利息		263
有価証券売買等損益		△72,191,546
営業収益合計		△72,191,283
営業費用		
受託者報酬		76,973
委託者報酬		1,078,053
その他費用		244,381
営業費用合計		1,399,407
営業利益又は営業損失 (△)		△73,590,690
経常利益又は経常損失 (△)		△73,590,690
当期純利益又は当期純損失 (△)		△73,590,690
一部交換に伴う当期純利益金額の分配額又は一部 交換に伴う当期純損失金額の分配額 (△)		—
期首剰余金又は期首欠損金 (△)		—
剰余金増加額又は欠損金減少額		—
当期一部交換に伴う剰余金増加額又は欠損金減 少額		—
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減 少額		—
剰余金減少額又は欠損金増加額		—
当期一部交換に伴う剰余金減少額又は欠損金増 加額		—
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増 加額		—
分配金		—
期末剰余金又は期末欠損金 (△)		△73,590,690

（3）注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

期別	第1期 自 平成22年10月22日 至 平成23年 1月20日
項目	
有価証券の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 移動平均法に基づき当該投資信託受益証券の基準価額で評価しております。 親投資信託受益証券 移動平均法に基づき当該親投資信託受益証券の基準価額で評価しております。

（貸借対照表に関する注記）

第1期 平成23年 1月20日現在	
1. 期首元本額	1,000,000,000円
期中追加設定元本額	0円
期中交換元本額	0円
2. 計算期間末日における受益権の総数	1,000,000口
3. 元本の欠損	
貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は73,590,690円であります。	

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

第1期 自 平成22年10月22日 至 平成23年 1月20日	
分配金の計算過程	
A 当期配当等収益額	263 円
B 分配準備積立金	0 円
C 配当等収益額合計（A+B）	263 円
D 経費	1,399,407 円
E 収益分配可能額（C-D）	△1,399,144 円
F 収益分配金額	0 円
G 次期繰越金（分配準備積立金）（E-F）	△1,399,144 円
H 口数	1,000,000 円
I 分配金額（1口当たり）	0.00 円
（百口当たり）	0 円

（金融商品に関する注記）

I 金融商品の状況に関する事項

	第1期 自 平成22年10月22日 至 平成23年 1月20日
金融商品に対する取組方針	当ファンドは証券投資信託として、有価証券、デリバティブ取引等の金融商品の運用を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。
金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが運用する主な有価証券は、「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載の有価証券等であり、全て売買目的で保有しております。また、主なデリバティブ取引には、先物取引、オプション取引、スワップ取引等があり、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するために行うことができます。当該有価証券及びデリバティブ取引には、性質に応じてそれぞれ価格変動リスク、流動性リスク、信用リスク等があります。
金融商品に係るリスク管理体制	運用部門、営業部門と独立した組織であるリスクマネジメント部を設置し、全社的なリスク管理活動のモニタリング、指導の一元化を図っております。

II 金融商品の時価等に関する事項

	第1期 自 平成22年10月22日 至 平成23年 1月20日
貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。
時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。 (2) デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。
金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

(有価証券に関する注記)

第 1 期 (自 平成22年10月22日 至 平成23年1月20日)

売買目的有価証券

(単位：円)

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
投資信託受益証券	△72,191,550
親投資信託受益証券	4
合計	△72,191,546

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	第 1 期 平成 23 年 1 月 20 日現在
1口当たり純資産額	926.41 円
(百口当たり純資産額)	(92,641 円)